

会報

みちびき

平成24年7月
第110号
東京都立学校
情緒障害
教育研究会

情緒障害教育研究会が目指すもの

東京都立学校情緒障害教育研究会会長

練馬区立旭丘小学校長

竹淵 正人

平成二十四年四月十六日に、国立オリンピック記念青少年総合センターに於いて、東京都公立学校情緒障害教育研究会定期総会が開催され、今年度の活動が始まりました。私は、この度、小川深雪先生から、都情研の会長を引き継ぎました練馬区立旭丘小学校長竹淵正人と申します。小川前会長をはじめ歴代の会長や諸先輩が築き上げて来た歴史ある本研究会です。会員の皆様とともに、都情研の発展のために尽力して参る所存です。微力ではありますが精一杯頑張らせていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。

定期総会には来賓に東京学芸大学名誉教授野村東助様、全国特別支援教育推進連盟大南英明様、文部科学省特別支援教育調査官石塚謙二様、全国情緒障害教育研究会会長金井尚志様、NPO法人東京都自閉症協会

山森裕子様、都教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課統括指導主事市川裕二様をお迎えし、専門分野からの研究の成果、国や都の施策、関係団体の取り組み等、お話をいただきました。貴重なお時間を頂き心より感謝いたします。

平成二十二年十一月に出された東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画が実施され、東京都の特別支援教育に対する施策や国の制度改正が進んでいます。この第三次実施計画の副題では、「すべての学校における特別支援教育の推進を目指して」とあります。昨年八月五日、国の障害者基本法の一部を改正する法律が公布されました。第二条では、障害者の定義が見直され、精神障害（発達障害を含む。）が明記されました。心身の機能の障害がある者であって、障害及び社会的障壁により

継続的に日常生活、社会生活に相当な制限を受ける状態にある者と述べられています。三条では、全て障害者は、あらゆる分野の活動に参加する機会が確保されること、地域社会において他の人々と共生することを妨げられないことが述べられています。さらに、十六条（教育）では、年齢及び能力に応じ、その特性を踏まえた十分な教育が受けられるようにするため、可能な限り障害者である児童及び生徒が障害者でない児童及び生徒と共に教育を受けられるよう配慮した施策を講じる、と述べています。特別支援教育を進めるに当たっては、児童及び生徒、その保護者に対し十分な情報の提供を行うとともに、可能な限りその意向を尊重しなければなりません。

私は、二年前から「日本におけるインクルーシブ教育を考える会」に参加しています。その中で、「障がい者制度改革推進会議」が中心となり、インクルーシブ教育を推進しながら国に働きかけ、関係法規の改正に繋がっていったことを理解しました。都内の特別な支援を受ける子供は今後増加し、平成二十三年度は

五、四一〇人だった情緒障害等通級指導学級を利用する児童・生徒数は、平成三十二年度には八、八〇四人という推計値が出ています。新規採用教員や経験の浅い教員に対し、研修の場と機会を保證するとともに、管理職も障害児・者への理解を深める研修が必要でしょう。山積する課題について、今後も、都情研の活動や研修を通じ、皆様が互いに連携を深め、協力し合って、専門性の向上を図って行きますよう。

お知らせ

◎平成二十四年度設置校部

夏季集中研修会

「これからの情緒障害教育のあり方」

会場 中央区立

八月八日（水） 月島第一小学校

・講演会

八月九日（木）

・講演会

・グループ討議

*情緒障害学級担任向けの研修会です。参加申し込みが必要です。詳しくは各地区委員校に案内を出します。地区委員は区市町村の設置校へ配布をお願いいたします。

総会記念講演抄録

「大人のADHDの支援の実際 ～よりよい未来を迎えるために小中学校で必要な支援～」

司馬クリニック 司馬理英子 先生

一、はじめに

今日は、大人のADHD(注意欠如・多動性障害)の方への支援を考
える際、子供の時の支援としてどの
ようなことが考えられるかという視
点をもってお話したいと思います。
《注意欠如》というのは新しい呼び
方です。

二、ADHDという発達障害

ADHDには、《実行機能の障害》
と《報酬系の障害》という面があり
ます。

実行機能の障害とは、やろうとす
るが完遂できないというもので、次
のような理由が挙げられます。
・ルールや決まりを忘れる。
・過去の経験を生かせない。
・未来を考えて計画できない。
・やるべきことを記憶することが苦
手である。
・活動に必要な記憶の保持ができな
い(ワーキングメモリーの不足)。
等

報酬系の障害とは、目的のある行
動への動機付けが難しい障害です。
楽しい、興味があることでないとや

ろうという気持ちがちにくく、辛
抱して苦手なことに取り組むことが
困難です。

我慢ができない、だらしない、
駄ができていないと見ってしまうので
はなく、実行機能・報酬系の障害で
あると考えた方が有効な対策が立て
やすくなります。

三、大人のADHD

ADHDの子供の三分の一は大人
になっても問題をもち続け、中には
家庭生活や子育てがうまくいかない
人たちもいます。わたしがクリニッ
クで相談を受ける対象は大人の女性
ですが、次のような症状がよく見ら
れます。

- ・片付けられない。
- ・仕事を先延ばしにする。
- ・単純作業、雑務ができない。
- ・集中できない。等

特に、家事や子育てがうまくでき
ないという症状は、子供にも大きく
影響してくるものであると思いま
す。短気、ストレスや欲求不満に耐
えられない、気ぜわしい、衝動的に
行動や決断をしがちななどの傾向もつ

ていると、子供から見ると家庭が落
ち着かなく映ります。日によって、
親の気分によって褒められたり、怒
られたりしてしまうなど、親の反応
が一定ではないことも親子関係の問
題に繋がってきます。

四、ADHDの3つの症状

- ①不注意《集中力の持続が困難》
- ・ケアレスミスが多い。
- ・指示に従って作業をやり遂げられ
ない(反抗的な行動や指示を理解
できていないためではなく)。
- ・精神的努力の持続を必要とする課
題に取り組むことが苦手である
(ドリルや宿題など)。
- ・活動に必要な物を失くしたり、忘
れてしまったりする。
- ・整理整頓が困難である。
- ・集中力の持続が難しく、外からの
刺激で簡単に注意がそれてしまう。

等

多動・他害のある子供は目立つの
で援助を受けやすいのですが、不注
意優勢のタイプは援助を受けにくい
ことが多いので注意が必要です。

- ②多動性《落ち着きがない》
- ・手足をそわそわさせる。
- ・教室などで席を離れる。
- ・静かに遊べない。
- ・じつとしていない。

症状は年齢によって変化します。
その子なりの成長はしますが、それ
が年齢相応に改善してきたのかどう

かはしっかりと見ていく必要があります。
ます。

③衝動性《待てない》

- ・質問が終わる前に答える。
- ・順番が待てない。
- ・人の邪魔をする。

刺激に対してすぐに反応してしま
う症状です。もし五秒でも待てたら
行動を変えられることができるので
すが、それが難しいのです。

五、自閉症スペクトラム障害の

3つの症状

ADHDかどうかを見極める時に
重要なのは、広汎性発達障害との鑑
別です。広汎性発達障害と自閉症ス
ペクトラム障害は、ほぼ同義語です。
高機能自閉症やアスペルガー症候群
なども、自閉症スペクトラム障害で
す。症状としては、次の3つが挙げ
られます。

①人とのかわり方《社会性》

- ・孤立群(他の人に興味を示さない)
- ・受動群(受け身であれば人とのか
わりをもてる)
- ・積極奇異群(積極的にかかわりを
求めるが、やり方が奇妙)

少しずつ社会性やルールを学んだ
結果、過度に大仰なタイプになる
ケースが思春期後半から大人に見ら
れます。

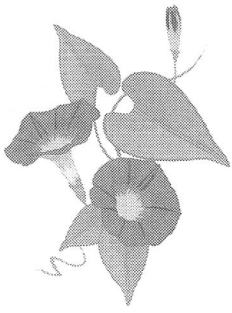
②コミュニケーションの仕方

- ・不自然な口調
- ・細かいところにこだわる話し方

- ・一方的な会話
- ・視線が合わない（関心の度合いによる差が大きい）
- ・相互的なコミュニケーションがもてるようにしたいです。
- ③想像力の問題《こだわり》
- ・特定のものへの狭く深い興味
- ・自分の決めた手順ややり方への固執

- ・先の見通しを立てることが苦手
- ・変更や新しいものへの不安
- ・人の気持ちに分かりにくいため、相手の気持ちについて、詳しく知らせてあげることが大切です。

自閉症スペクトラム障害の診断がなくても、これらの特徴をもっている人もいます。その特徴を知っておいたほうが、コミュニケーションがとりやすくなります。来院する大人のADHDの方の中には、自分で気付かないけれど、自閉症スペクトラムの症状をもつ人も多くいます。やる事が決まっていればよいけれど、大人になって色々な役割を果たさなければいけなくなってきたときに困難が目立つてくる人達もいます。



六、ADHDと

自閉症スペクトラム障害の対比

ADHD	自閉症スペクトラム障害
分かっているけどできない。	分かっていないからできない。
気が散りやすくてできない。	一つのものにとらわれる（興味の偏り）からできない。
（行動するための）地図があるけど活用していない。	参照すべき適切な地図を持たない。

対比をすると、このような違いがあります。また、ADHDへの対応と、自閉症スペクトラムの一つで言葉に遅れないアスペルガー症候群への対応の違いを考えると、次のようになります。

【ADHD】

- ・やる気をどう維持するか。
- ・すぐ反応する前に待たせる。
- ・ワーキングメモリーを補強する（メモの活用などを小さい頃から教える）。
- ・面白さを用意する。
- ・達成感をいかに体験させるか。

力を発揮できずに、「僕は出来ないんだ」という思いを繰り返し味わっている子供が多くなります。家庭

などで小言や叱責が繰り返されることで、楽しいことに流され、考えずに行動することもありません。学業不振、非行や早い年齢での性行為や妊娠等の二次障害へつながることがあることを注意していただきたいです。

【アスペルガー症候群】

- ・きちんと教えれば、できることが広がる。
- ・同じことを繰り返す特徴があるため、適切に知らせれば、繰り返しやることは比較的得意である。
- ・一度インプットすると変更が難しいので、はじめの情報は適切であることが重要である。
- ・生真面目で、融通がきかなく、極端なので、中間を教えていくことも重要である。
- ・自分を含めた状況の全体像が見えにくいので、他者から自分がどう見えるかを教える。
- ・予定を伝えたり、予め視覚的に知らせたりすることで、不安を軽減する。

ADHDの子供がいたら、自閉症スペクトラムも疑った方がよいと思います。中には「話さない作戦」「人に合わせる作戦」で自分のコミュニケーション能力の弱さを見せないようにしている子供もいます。主体的に考えたことなのか、理解しているのか、気持ちなどを言葉にできているかを丁寧に見ることが必要です。

社会性の課題を見落とさないように気を付けましょう。

七、大人に見られる対人関係

- ・学生時代に友人関係で失敗してきた。
- ・同年代・同性との付き合いがうまくいかない。
- ・先生との間にトラウマ的な出来事がある。
- ・家族との長年にわたる軋轢がある。

来院者にはこのような悩みを抱えている人が多くいます。次のような症状がその原因となります。

①社会的想像力の乏しさ

自分がされたら怒るのに、同じことを人にしてしまうなど、自分が受けた情報は分かるけれど、相手にした結果に対して社会的に想像力を発揮することができないことがあります。

②求められる社会性のレベル

求められる社会性は、その人の能力によっても違ってきます。知的に低い子供たちは学業では問題がなくても、最終的に社会性の問題でつまづくことが多くあります。その困難さに気付いてあげたり、やり方を伝えてあげたりすることが大切です。自閉症スペクトラム障害の人たちの対人関係の失敗は、その人自身になりかねないので、気を付けなければいけません。

③ 感覚的な敏感さ
 感覚の過敏さをもっていることも多いです。

- ・ 予期しない音に敏感に反応する。
- ・ 騒々しい所、ある種の音が苦手。
- ・ 人が多いのが苦手。
- ・ 明る過ぎる光が苦手。
- ・ 急に触られると敏感に反応する。
- ・ 極端な偏食がある。

④ 気持ちの表現が苦手

- ・ うまく表現できなくて怒りや不安が強く出てしまう。
 - ・ 苦しい時に助けを求められない
- 〔「口で言う」ことだけがコミュニケーション手段ではないので、援助カードなどを活用するとよい〕。
- その子供の表情と、内面で思っていることは違うことも多くあります。それを知っていると、行動を分析し、思いを推測してあげることができません。

八、学習障害 (LD)

大人の ADHD の中に学習障害の問題をもっている人がいます。この障害は頑張らせるだけでは効果は見えません。学習の問題を積み残している大人はとも多くいます。報告書が書けない、指示を聞きながらメモを取るなど同時に二つのことがで

きない、ゆつくりやればできるが急ぐとミスをするという人がたくさんいます。

書くことの困難さに対しては、コンピュータを活用することもよいのですが、賢いユーザーになるための教育が必要です。アスペルガー症候群の人は視覚優位であることが多いので、視覚的情報を信じ過ぎたり、一つの言葉に強く反応し過ぎてしまったりすることがあるからです。インターネットは世界を広げられるツールではありますが、情報との付き合い方の指導は必要だと思えます。

九、ADHD・自閉症

スペクトラム障害の基本的対応

〔ADHD〕

- ・ やる気を継続させる。褒めるなど、外部からの動機付けを与える。レベルや内容を考慮した興味をもてる授業や活動を用意する。
- ・ 注意力の弱さに配慮する。
- ・ 自尊感情を育てる。

〔自閉症スペクトラム障害〕

- ・ 個別のかかわりを大切にします。
- ・ 構造化、枠組みを明確にする。
- ・ 具体的な指示を出す。
- ・ 視覚的な指示も有効である。
- ・ トラブルは不安や緊張からくることが多く、予測して予防ができることも少なくない(変化への弱さ、言語・状況の理解の不足、感覚の

過敏さに注意)。

ADHD様の症状をもつ子供に対しては、自閉症スペクトラムの可能性も考えながら、問題行動の分析や対応を試みてください。情報を学校や家庭で共有し、環境調整を行うことも大切です。

十、学校での対応

- ・ 小学校での対応としては、
- ・ 学校全体での取り組み
- ・ 指導や支援の継続性を確保(学年が変わったらスタートに戻るのではなく)
- ・ 不安を大きくさせないための様々な支援(スケジュールの提示、避難場所の用意など)
- ・ パニックへの対応(そつとしておく)
- ・ 学習面や社会性へのサポート
- ・ 保護者との協力

などがとても大切になります。中学校は非常に変化の大きな時期で、少しでも健やかに過ごすことができるようにするための支援としては、次のことが大切になります。

- ・ その生徒を理解する大人の存在が何よりも大事。学校全体でも情報を共有していることが必要。
- ・ 不登校が起きやすい。頑張り過ぎて限界が来てしまうと、そこから回復するのに時間がかかる。その前に、周囲が気づき、程良く休みながら継続していくことがよい。

・ 注意の仕方は「ししてはだめ」ではなく、「ししよう」と具体的に望ましい方法を伝えることが必要。話をいったん受け止めることも大切。

- ・ うまくいかない時は、伝え方や要求水準を見直す。「生徒が悪い」と思う時、自分のやり方を省みる。
- ・ 学校と家庭両方での様子を見極めていくことが大切。

十一、家庭への働き掛け

- ・ 家庭でできることについて、先生方が支援をすることも大切です。
- ・ 保護者への啓蒙。厳しい叱責や体罰をしても効果がないことを分かってもらう。
- ・ 毎日の活動をシンプルにしてもらう。改善したい行動をしぼって、これならできるといふ小さな目標に取り組めるようにする。
- ・ 褒め方を伝える。自分が褒められずに育っている親もいるので、具体的に知らせる。
- ・ 父母の間で考え方が違う場合がある。第三者が入り、話をするとよい場合もある。

十二、おわりに

子供たちに学んでほしいことはたくさんありますが、一番学んでほしいこと、感じてほしいことは「家族や教師に受け入れられている、認められて、愛されている」ことです。その子供が成長していくためには一番大切なことと考えています。

平成24年度 新設学級、再開学級、休級学級等一覧

Table with 4 columns: 区市町村, 学校名, 学級名. Rows include 中野区 若宮小学校, 北区 八幡小学校, 世田谷区 上北沢小学校, etc.

Table with 4 columns: 区市町村, 学校名, 学級名. Rows include 目黒区 第七中学校, 立川市 第三中学校, 国立市 第二中学校, etc.

名称変更 中野区 (旧) 第九中学校⇒ (新) 中野中学校

平成23年度 決算報告

(単位:円)

Summary table for 平成23年度 決算報告 with 3 rows: 収入, 支出, 差引残高.

(収入内訳)

Income breakdown table for 平成23年度 with 5 columns: 款項, 項目, 予算額, 決算額, 残額.

(支出内訳)

Expense breakdown table for 平成23年度 with 5 columns: 款項, 項目, 予算額, 決算額, 残額.

平成24年3月31日

東京都立学校情緒障害教育研究会

会長 小川 深雪 印

〃

副会長(会計) 関本 淳 印

〃

会計 玉井 智幸 印

平成24年3月31日

監査の結果、正確であることを認めます。

東京都立学校情緒障害教育研究会

監事 宮内 正秀 印

平成24年度 予算

(単位:円)

Summary table for 平成24年度 予算 with 3 rows: 収入, 支出, 差引残高.

(収入内訳)

Income breakdown table for 平成24年度 with 5 columns: 款項, 項目, 予算額, 摘要.

(支出内訳)

Expense breakdown table for 平成24年度 with 5 columns: 款項, 項目, 予算額, 摘要.

平成二十四年度

定期総会を終えて

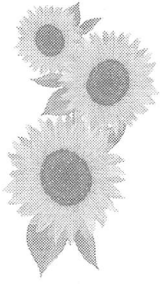
豊島区立千早小学校 田澤恵理

四月十六日(月)国立オリンピック記念青少年総合センター大ホールにて、平成二十四年度定期総会が開かれました。新会長の練馬区立旭丘小学校長竹淵正人先生をはじめ、新役員が承認されました。また、事業報告、決算報告、事業計画、予算案などが審議・承認されました。

記念講演として、司馬クリニック院長 司馬理英子先生より、

「大人のADHDの支援の実際」よりよい未来を迎えるために小中学校で必要な支援」という演題でご講演いただきました。基本的な対応の仕方、学校や家庭における支援の仕方など大変分かりやすくお話いただき、多くを学ぶことができました。

昨年度は、第四十四回全国情緒障害教育研究協議会全国大会を都情研主催で開催しました。実行委員をはじめ、都情研の先生方のご協力により、お陰様をもちまして盛会裏に終了いたしました。ありがとうございます。本年度は島根県で開催されますので、是非ご参加ください。



全情研島根大会のご案内

*大会テーマ

「一人一人の自立につながる支援の充実をめざして～実態のとらえ方と指導・支援、連携のあり方を探る～」

*期日

平成二十四年八月二日(木)

三日(金)

*会場

島根県松江市 島根県民会館

*内容

◇記念講演講師

浜松医科大学児童青年期精神医学講座特任教授 杉山登志郎氏

◇基調講演講師

文部科学省特別支援教育調査官 石塚謙二氏

◇シンポジウム

・コーディネーター 島根大学理事 肥後功一氏

◇分科会(五分科会)

「発達に課題のある乳幼児に対する早期の気づきと支援」「LD・ADHD等の子どもに対する支援」「自閉症(アスペルガー症候群・高機能自閉症)の子どもに対する支援」「自閉症(知的遅れのある自閉症)の子どもに対する支援」「LD・ADHD・自閉症の青年、成人に対する進学・就労支援」

お詫び

広報部一同

昨年度三月に発行の「みちびき109号」に、寄稿文「自閉症・情緒障害学級で指導を続けて」を掲載いたしました。その中に、事実と異なる箇所や誤解を招くような表現がありました。広報部での校正作業が不十分で、関係各位や執筆いただいた先生にもご迷惑をお掛けいたしましたことを、お詫び申し上げます。今後も丁寧な校正作業を心掛け、分かりやすく、みなさんに役立てていただけるよう誌面作りに努力していきたいと思っております。

【表題】
《自閉症・情緒障害学級》東京都では現在、固定の学級にこの名称を使用しています。そのため、この文章の内容からすると「情緒障害等通級指導学級」の方が適切です。

【P2第2段】
《情緒障害教育の経験が五年未満の教員が半数を占める現在》都情研の最新の調査では「七割以上」となっています。

《情緒障害教育は昭和四十三年に中略し始まりました》正しくは昭和四十四年です。

《昭和四十三年に》まだ養護学校はありませんでした。既に立川養護学校などが開校されていました。

【P2第3段】

《すべての子供たちを(養護)学校に受け入れる全入》正しい意味としては、「希望者全入」です。

《情緒障害児学級の対象は通常の学級に在籍可能な者と定められ》それぞれ「通級による指導の対象」「在籍する者」に訂正します。

《通級希望者が急増し、発達障害の子供たちの割合が増えていきました》「通級希望者が急増していきました」に表現を差し替えます。

【P2第4段】
《通常の学級で集団不適應になつている子供たちを引き受けている》通常の学級で学習上又は生活上の困難を抱える子供たちが通級している」に表現を差し替えます。

【P3第2段】
《児童発達の知識》「発達に関する知識」に表現を差し替えます。

【P3第3・4段、P4第2段】
《情緒障害教育》文意からすると「情緒障害等通級指導学級」が適当です。

【P3第3段】
《改定》「改訂」の間違いです。

編集後記

広報に関するご意見、ご感想がありましたらお寄せください。

042148812861

調布市立柏野小学校
編集・発行 広報部
印刷 (株)ワールドミレーティング